

かけがえのない私、 きつと 見つかる未来

この希望は失望に終わることがありません。
なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。
(聖書「ローマ人への手紙」5章5節)

●ムーヴから小学生女子の皆さんへ

今の皆さん自身を見つめてください。ひとり一人に大切な賜が与えられています。他人と比べる秤は遠ざけてください。「かけがえのない私」が見つかるはずですよ。私がい、あなたがいる。ともに生きる世界を生み出しましょう。世界に求められる自分を実感しましょう。そして未来の自身を思い描きましょう。皆さんは何を求めて成長するのでしょうか。世界のどこで、何色に輝くのでしょうか。そのために今、何を学ぶべきでしょうか。自分に問うてください。

中学高校時代は「私」を築くための生涯唯一の時間です。仲間たち、学校の先生、家族と心を紡ぎながら伸びるのです。人々とのつながりのなかで、皆が励まし合いながら、思考を深めます。自我を整え、個性を自覚します。自分を貴び、誇りで満たします。やがて、育つ意欲が泉のようにこんこんとわき起こるはずですよ。こぼさないよう、大切に心に満たしましょう。

学校ではたくさんの知識を蓄えます。でも、無理矢理詰め込まれては、いつか器が破れてしまいます。

自分の意志で励む。動機を耕す。そうすれば皆さんの器は無限に膨らみます。基礎となる知識を確かに取り入れてください。知識を自分の力でつなぎ合わせて、

●ムーヴから保護者の皆さんへ

日本に大災害がおきました。世界にも異常気象が観測されます。でも、子どもたちは憂いながらも、健やかに伸びたいと願っています。力強く助けてあげたい。大人が担う使命です。玉川聖学院は子どもたちを守る砦。保護者も学校に所属してともに教育に携わる共同体です。

女子の身心の成長・特質に合わせた教育プログラムから校舎設計に至るまで、細やかな心配りが届きます。「国際理解教育」「心の教育」など今日的な教育課題は、すでに長年にわたり成果を積みました。美しい校舎には随所に女子のための配慮が施されています。健やかな成長の場です。

それでも、テレビコマーシャルのようにスペックを声高に連呼したり、成果を自慢げに吹聴したりする学校ではありません。謙虚な姿勢。聖書の教えが映っているのと感じます。入試偏差値による序列や、大学進学実績による「格付け」を超え、玉川聖学院の信念と気風を見つけてください。宣伝ではなく約束。学校の方針を誠実に宣伝しています。目的は子どもたちの健やかな成長です。そのために、受験生一人ひとりに対して「約束」する姿勢です。そうして、共感者が家族のように集います。

毎朝、キャンパスには荘重なパイプオルガンの音色が響きます。高等部の生徒たちは「谷口ホール」へ、中等部の生徒たちは「キンレイホール」へ導かれます。祈りに心を静め、賛美歌に心を込め、聖書のことばを

頑丈に組み立ててください。知識の量はテストで得点を競うための尺度ではありません。知性的に事物を考えるための源です。

皆さんには柔らかい感性があふれています。いつまでも曇らせることなく、大切に磨きます。五感を研ぎ澄まして世界とふれあいます。喜怒哀楽を素直に表現しても誰もとがめません。木々や花々とも語りあしましょう。優れた芸術や文学に出会いましょう。友人たちの心遣いにありがとうの気持ちを返しましょう。成長期に感じた心の安らぎは、生涯、胸の内に宿りつづけるでしょう。

人は神さまと他者に仕えるために創造されたかけがえのない唯一の存在です。ひとり一人が授けられた能力と特質を信じましょう。丁寧に育て上げ、社会に役立てるよう尽くしてください。同時に、他者との違いを豊かなものとして受け入れ、自分を広げましょう。他人を敬い、協働の姿勢を絶やすことなく過ごしてください。

玉川聖学院の「心のこもった教育」が、皆さんを導きます。きつと光に満ちた未来が見つかるでしょう。

心に刻みます。どちらのホールにもステンドグラスに彩られた優しい光が見守ります。

玉川聖学院は敬虔なミッションスクールです。日曜日の礼拝も重んじます。より深い理解が求められます。ぜひ、学校の先生と、ことばを交わし志願してください。玉川聖学院の心のこもった教育。そこに希望を見いだせば、必ずや約束を果たしてくれるでしょう。

◆MOVE TOPICS TAMASEI CHRISTMAS

クリスマスのころ、学院のシンボルツリーがイルミネーションに包まれます。

生徒たちは微笑みながら、校内の各所にクリスマスツリーやリースを飾ります。

高等部はヘンデルのメサイヤを高らかに歌い、中等部では、英語部による降誕劇などを通してキリストの生誕を祝います。

一部のクリスマス行事は受験希望の家庭も参加できます。玉川聖学院の精神を知るためにも、ぜひ訪れてみましょう。

